

# 2023年 日本医療の満足度、 および生成AIの医療応用に関する世論調査

---

日本医療政策機構

# Survey Result

- 調査期間：2023年12月4日から2023年12月7日
- 形式：オンライン調査
- 合計配信数：13,004名
- 調査回答者数：1,502名（回収率11.55%）
- 回収数：1,000名（有効回答者数が1,000名に到達した時点で終了）
- 対象：20歳以上の日本人男女
- サンプルング：年齢階級、性別、居住地により調整

## 地域

- 北海道・東北 11.3 %
- 関東 34.7 %
- 中部 16.7 %
- 関西 17.6 %
- 中国 8.6 %
- 九州・沖縄 11.1 %

## 年齢階級

- 20-29歳 11.6 %
- 30-39歳 13.5 %
- 40-49歳 17.4 %
- 50-59歳 16 %
- 59-69歳 28 %
- 70歳以上 13.5 %

## 性別

- 女性 52.2%
- 男性 47.8%

# 調査対象者の職業（回答に関連する職業のみ）

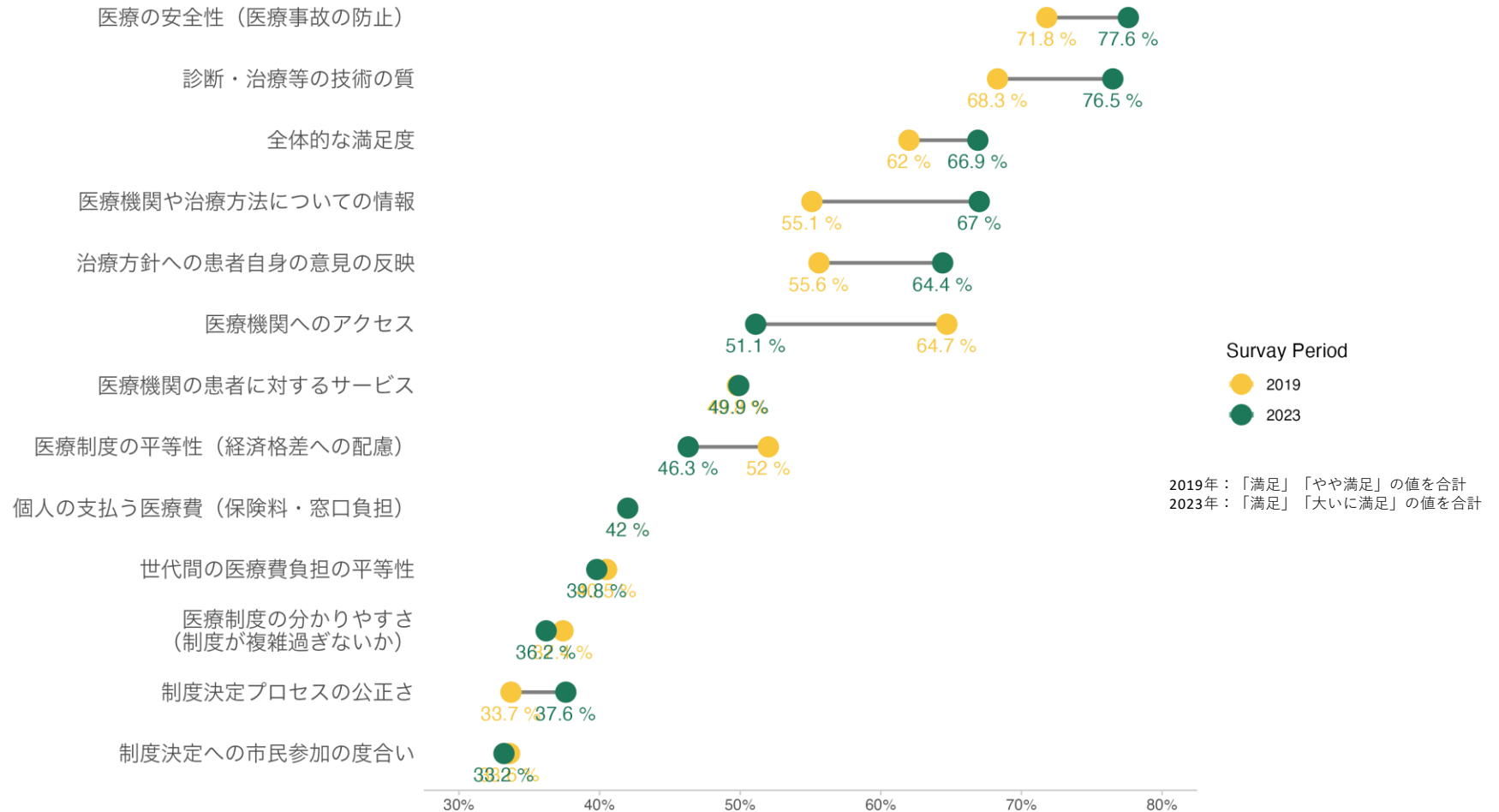
あなたの職業について教えてください。（複数選択可）

	回答数	%
全体	1000	100.0
研究者	10	1.0
情報処理・通信技術者	30	3.0
医師	6	0.6
歯科医師	4	0.4
獣医師	3	0.3
薬剤師	6	0.6
保健師	3	0.3
助産師	1	0.1
看護師	13	1.3
医療技術者	17	1.7
栄養士、管理栄養士	5	0.5
あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師	4	0.4
その他の医療・看護・保健の専門的職業	10	1.0
保健医療関係助手	7	0.7
その他（無職含む）	896	89.6

医療・医療システムに対する満足度

# 新型コロナウイルス感染症によるパンデミック前後で医療の全体的な満足度はやや向上。医療機関へのアクセス、医療制度の平等性で減少

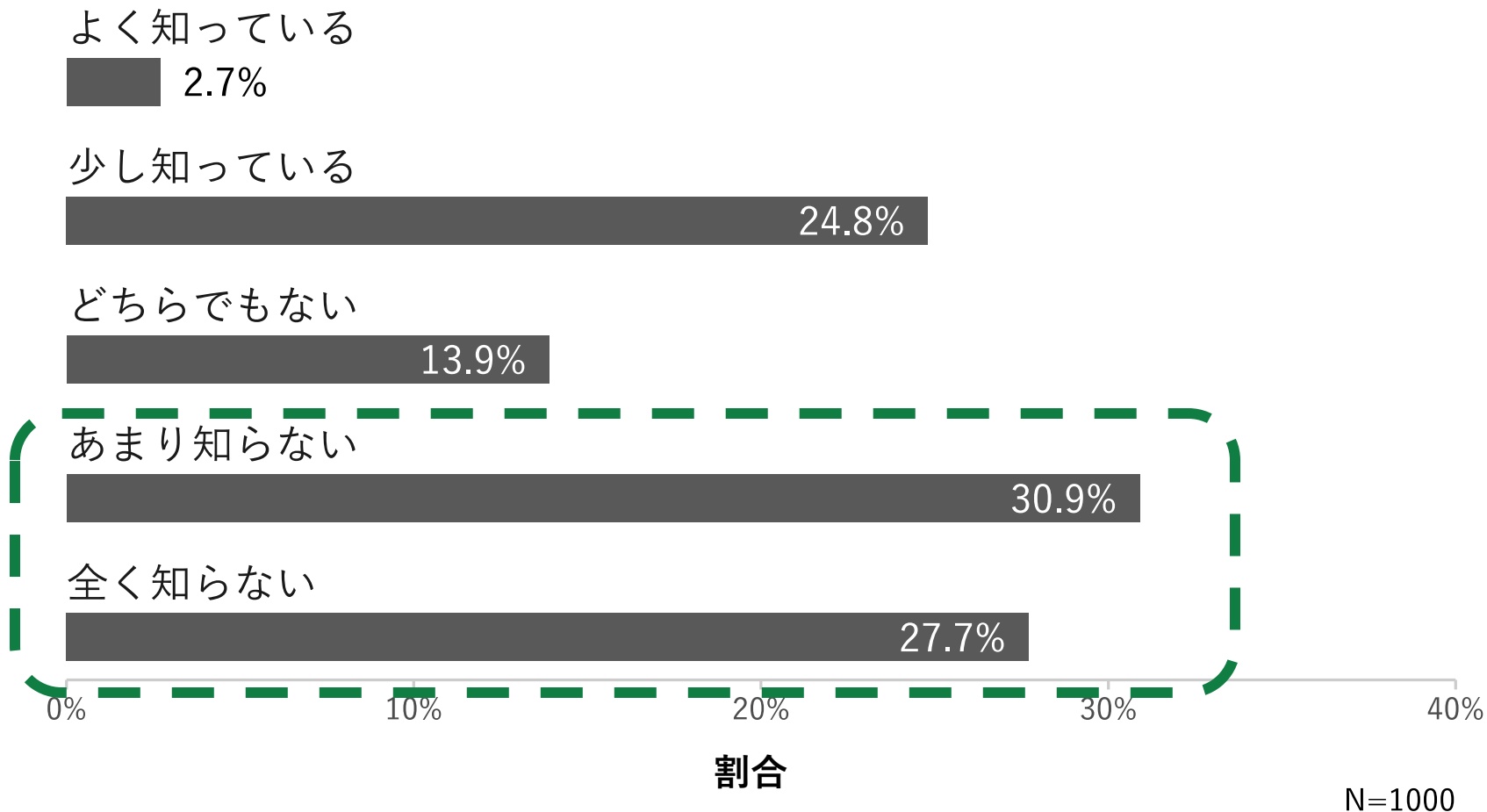
Q：あなたの現在の日本の医療および医療制度への満足度についてお答えください。以下の項目についてあなたの意見に最も近い選択肢はどれですか。



# 生成AI/AIに関する設問

認知・利用状況・関心・知識

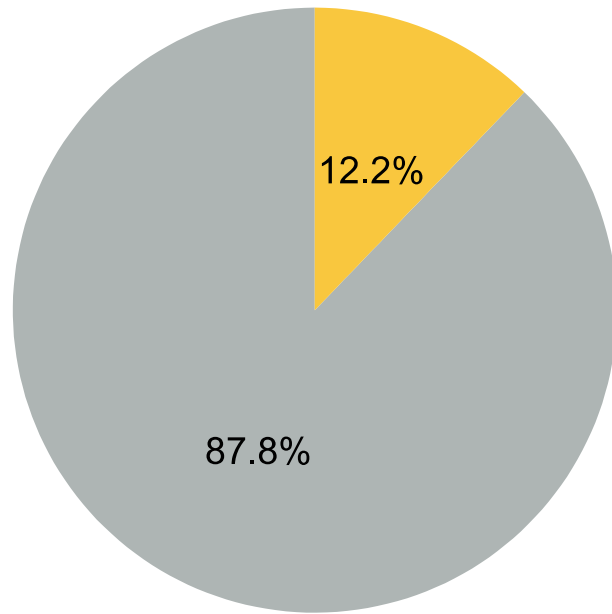
Q：生成AIについてどのくらい知っていますか。





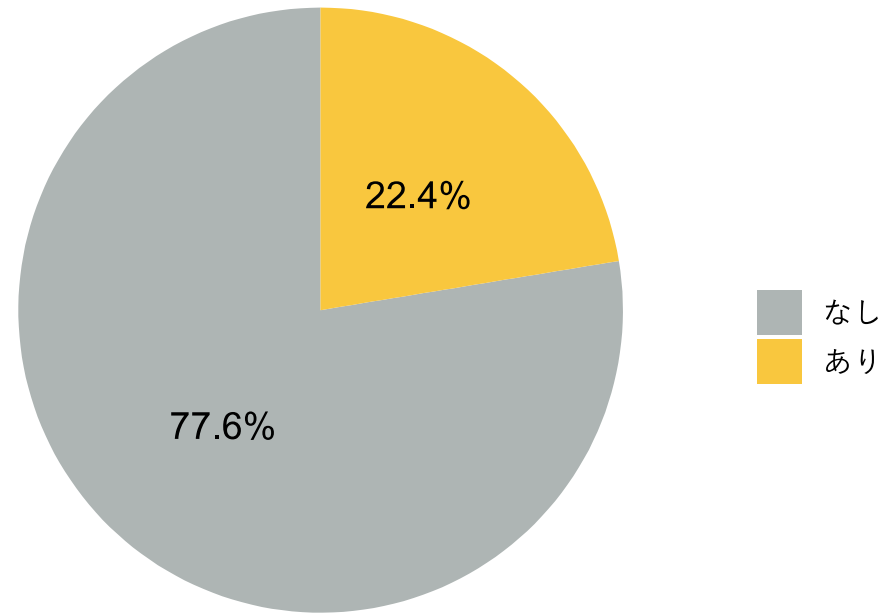
# 生成AIを実際に利用したことがある回答者は約1割 AI全体では約2割

Q：生成AIを利用したことがありますか。



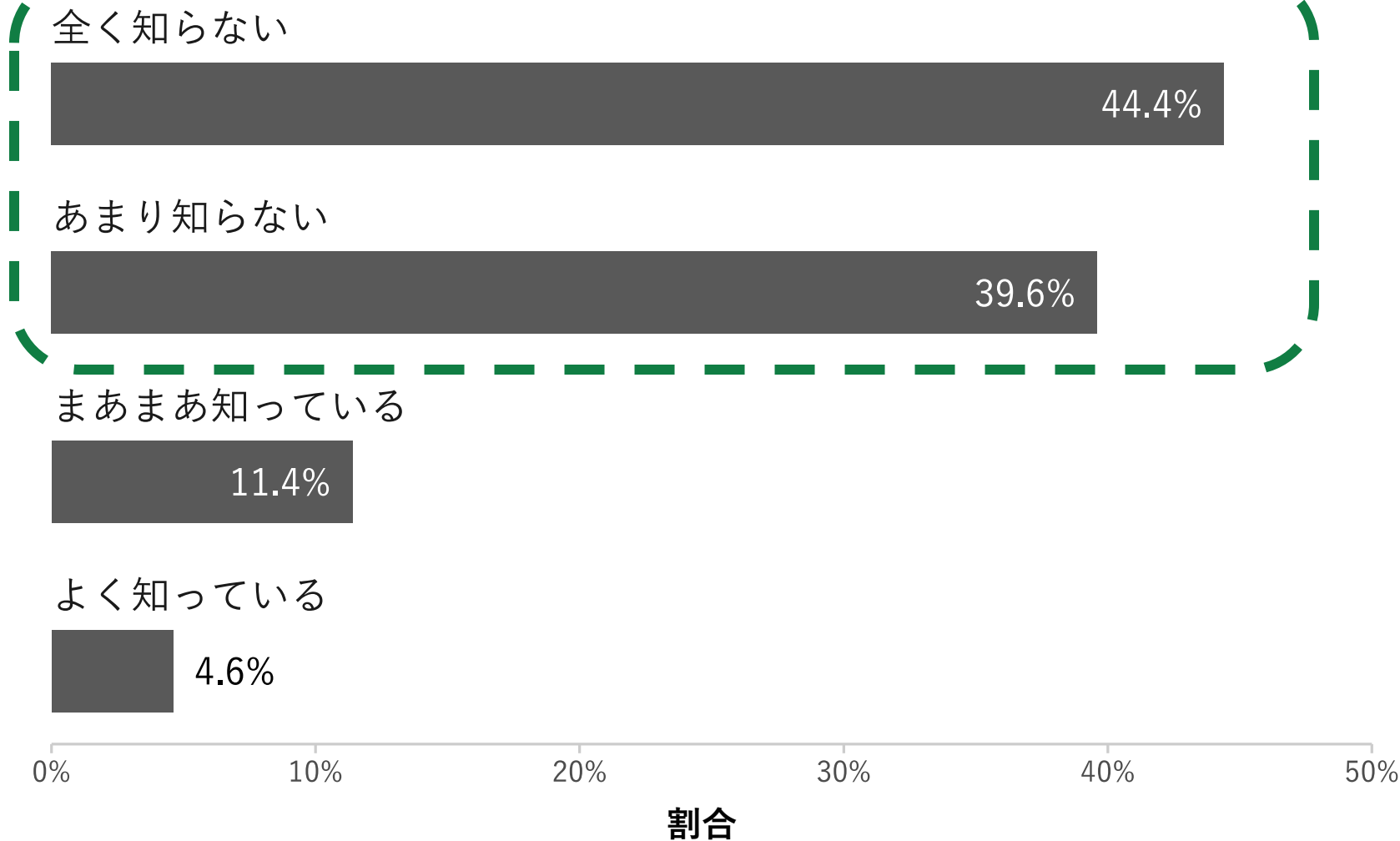
N=1000

Q：生成AIに限らず、AIを利用したことがありますか。



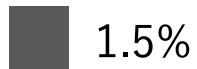
N=1000

Q：生成AIと通常のAIの違いについてどの程度知っていますか。



Q：生成AIの医療分野での応用が始まっていることを知っていますか。

よく知っている



少し知っている



どちらでもない



あまり知らない



全く知らない

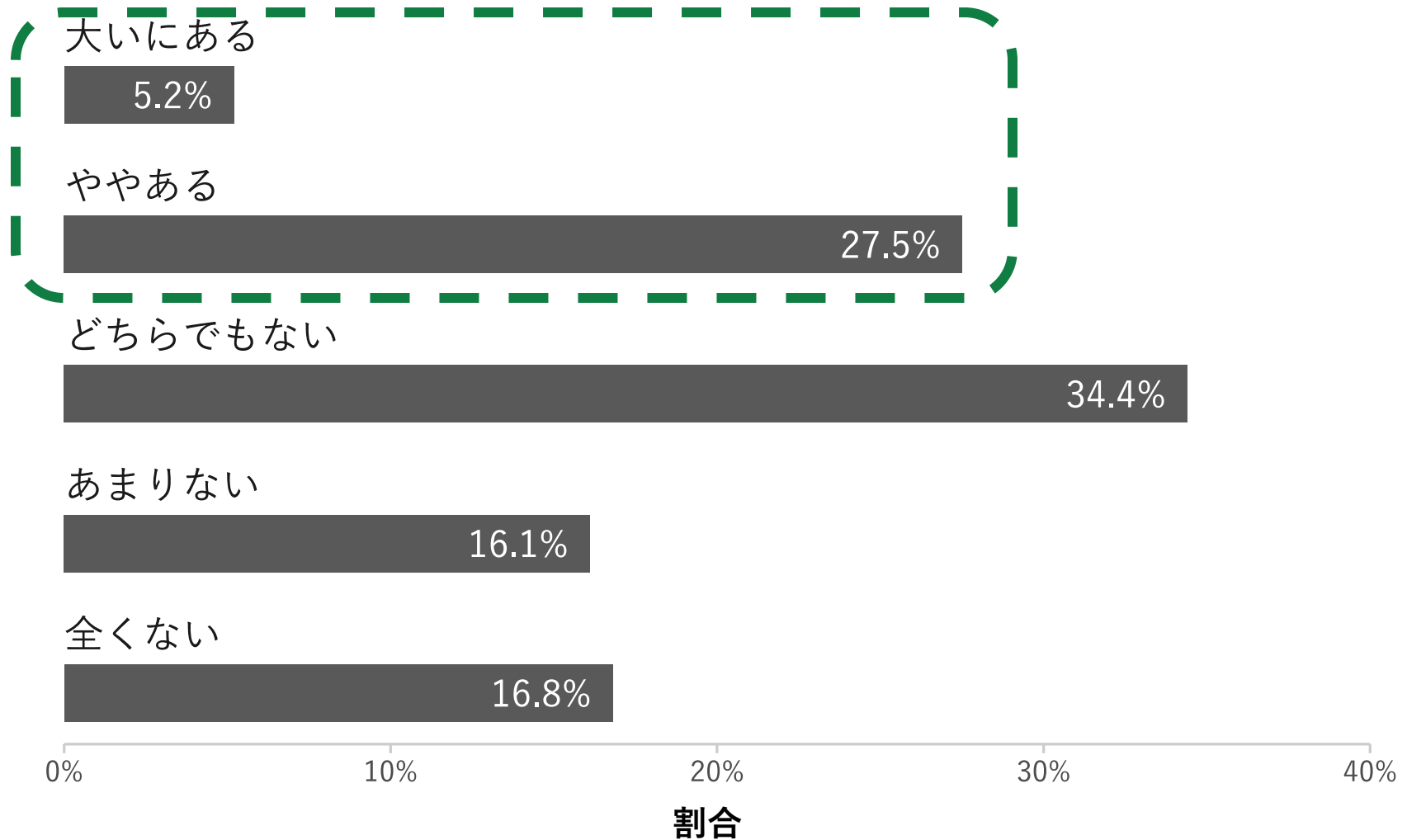


0% 10% 20% 30% 40%

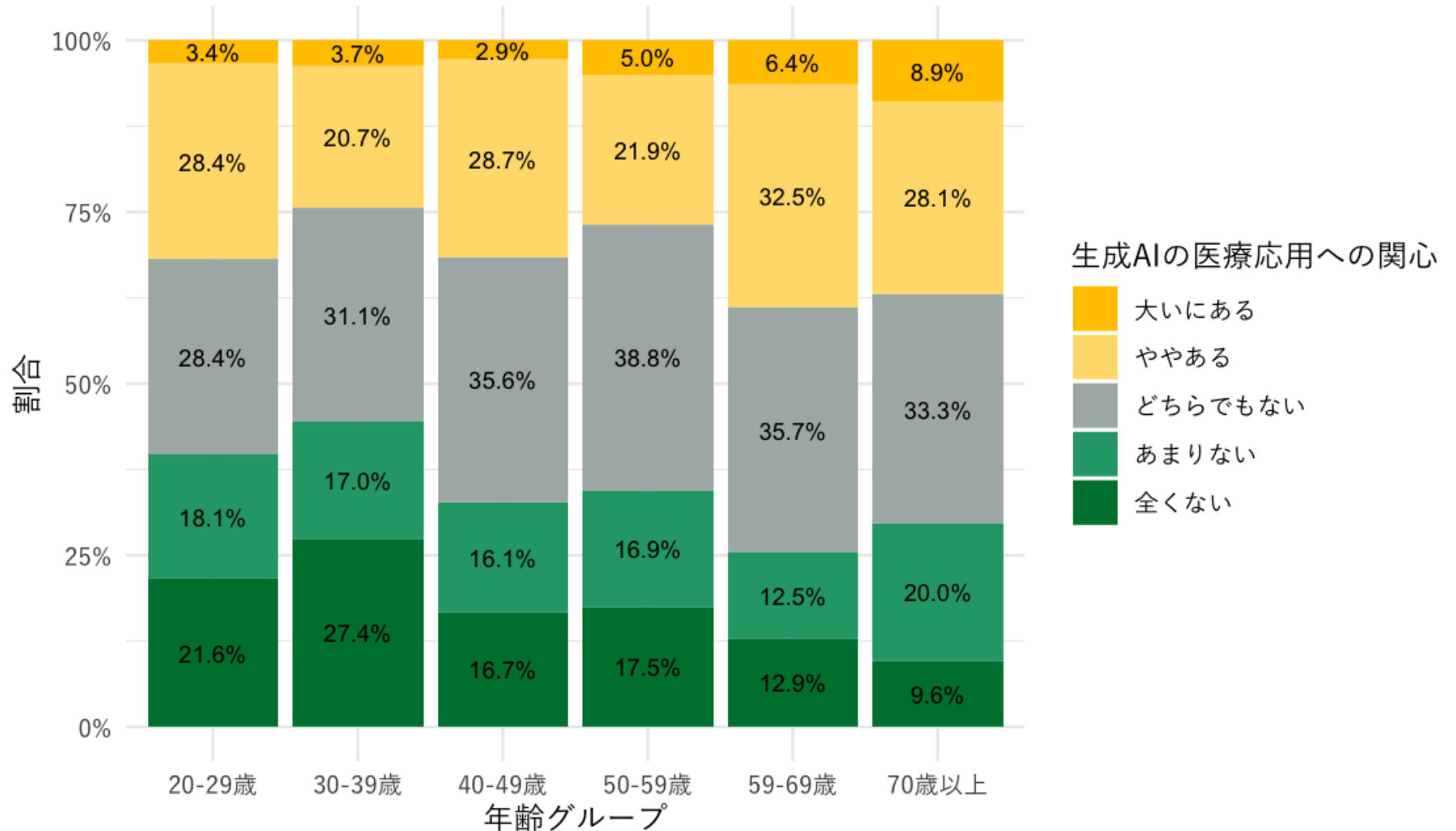
割合

# 一方、32.7%が生成AIの医療応用に関心あり

Q：生成AIの医療応用に関心がありますか。



## 年齢グループ別・生成AIの医療応用に関心があるものの割合

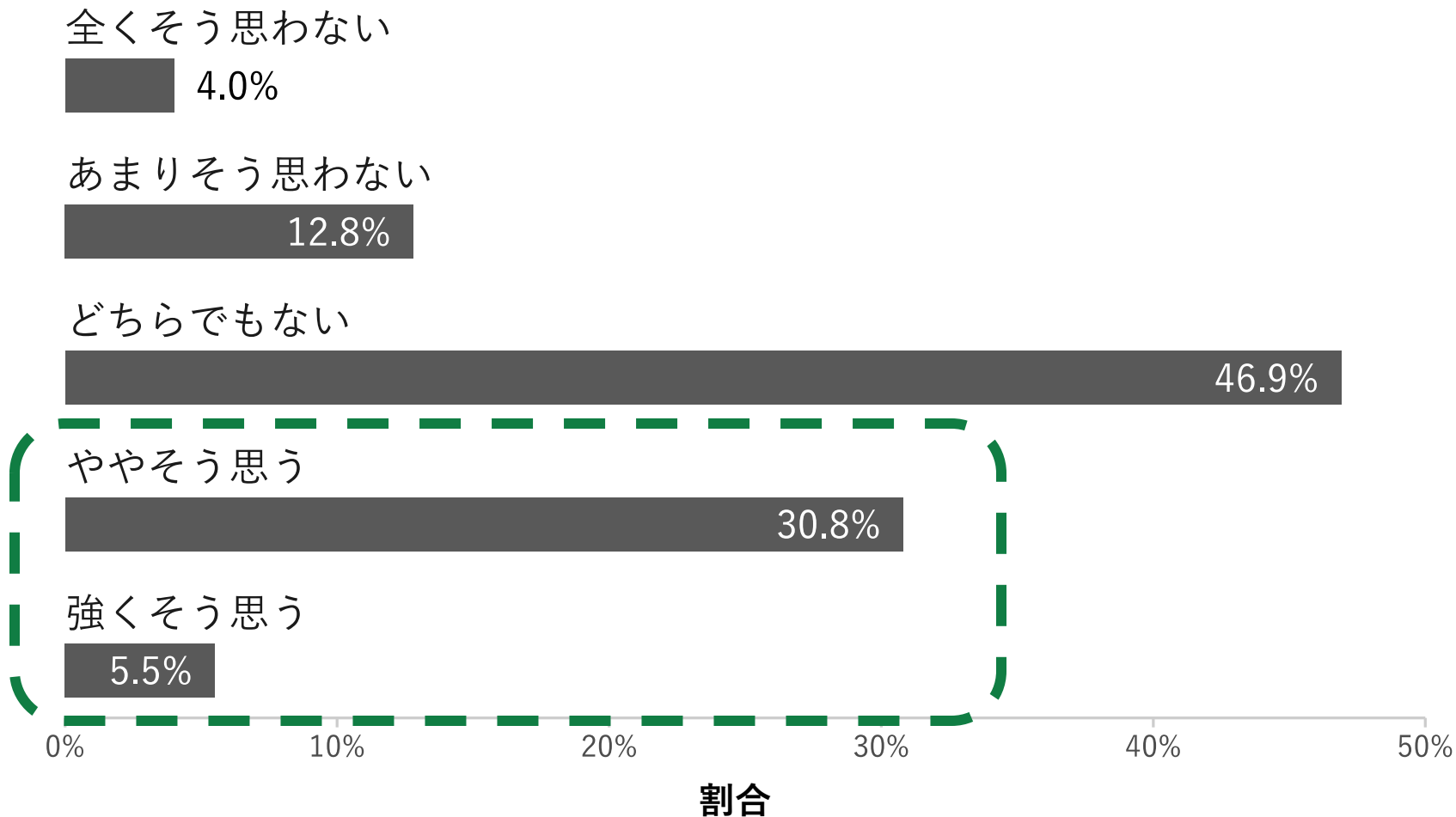


生成AI/AIに関する設問

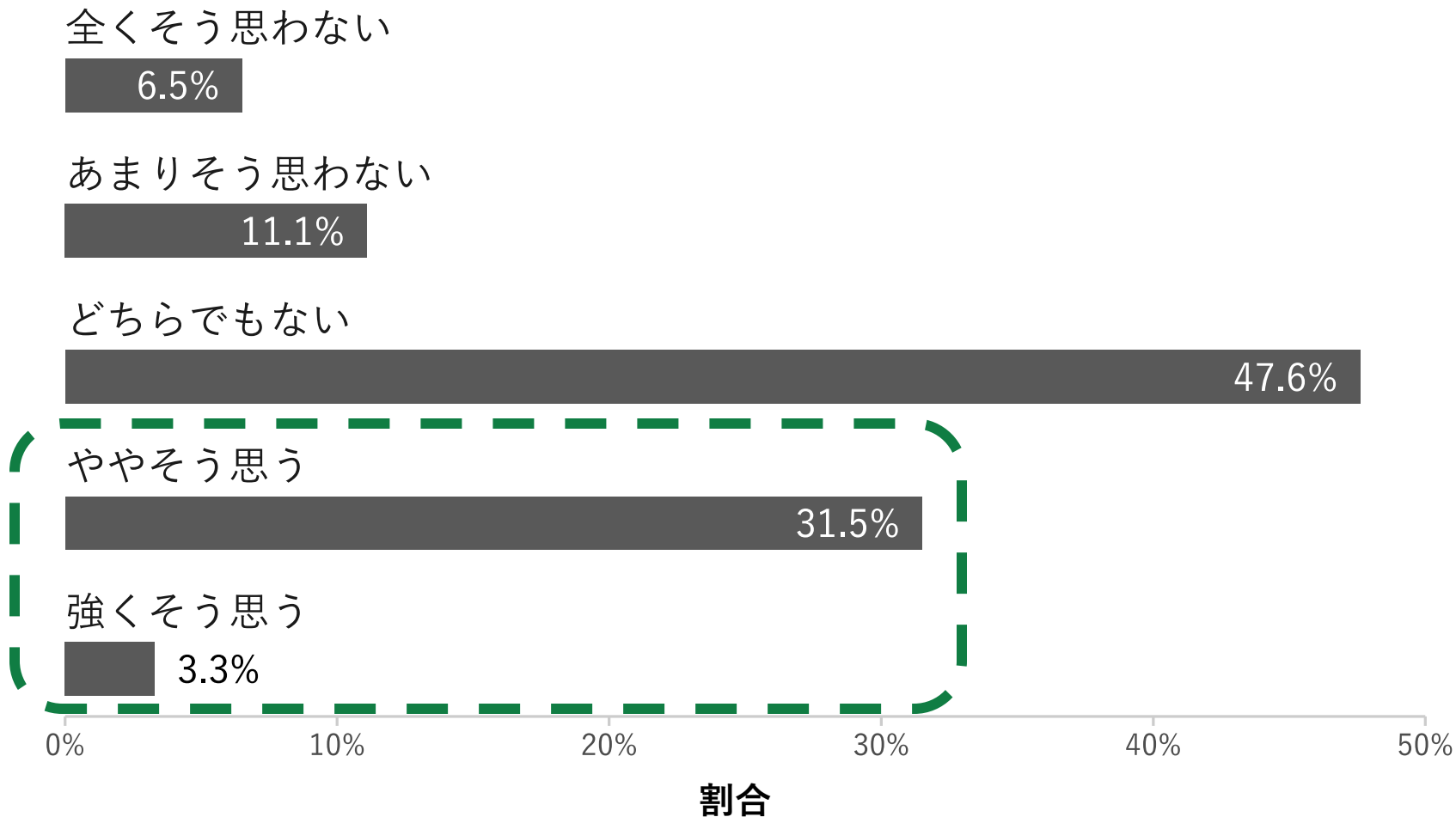
期待・印象・懸念

# 1/3を超える（36.3%）回答者が 生成AIの医療応用によって医療へのかかり方が変わると認識

Q：生成AIを医療に活用することにより、ご自身の医療へのかかり方が今後大きく変化すると考えますか。



Q：生成AIを医療に活用することにより、医療に関する情報が手に入れやすくなると  
思いますか。

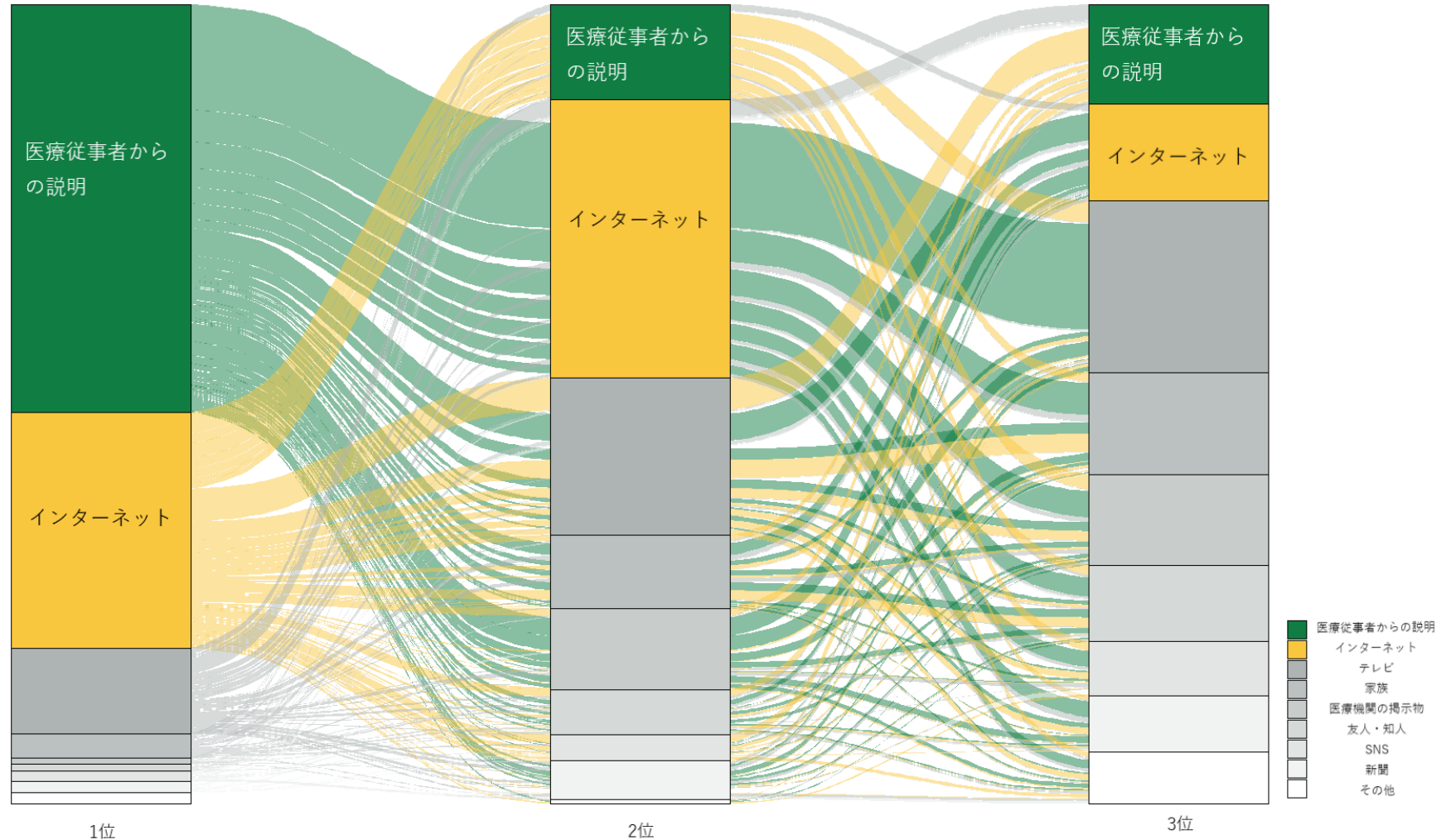




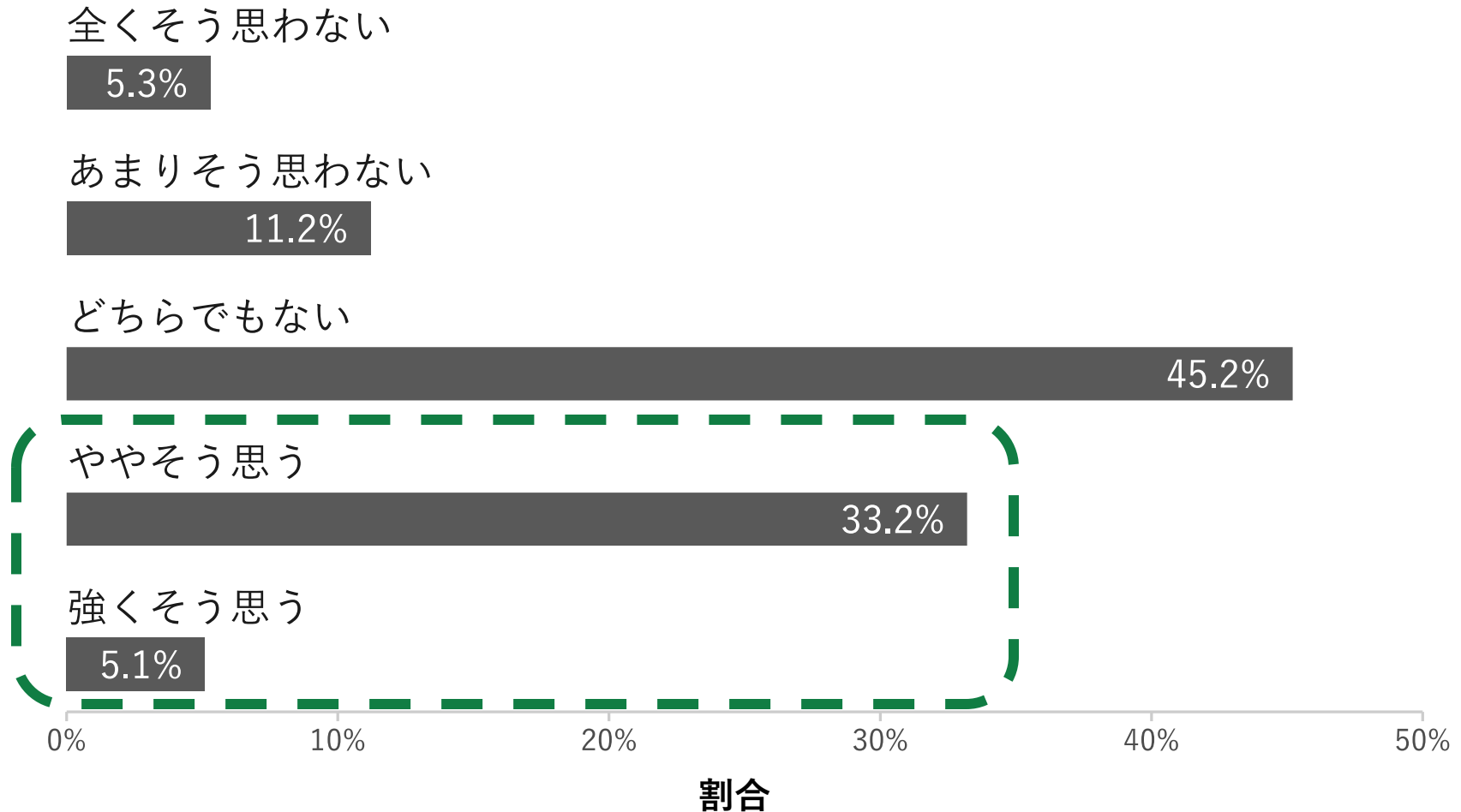
# 医療情報としてインターネット情報が活用されている 生成AIを利用した医療情報検索の素地となるか

現在ご自身の健康・病気・医療に関して情報を得る方法としてどのようなものがありますか。以下の中から信用しているもの上位3つを選んでください。

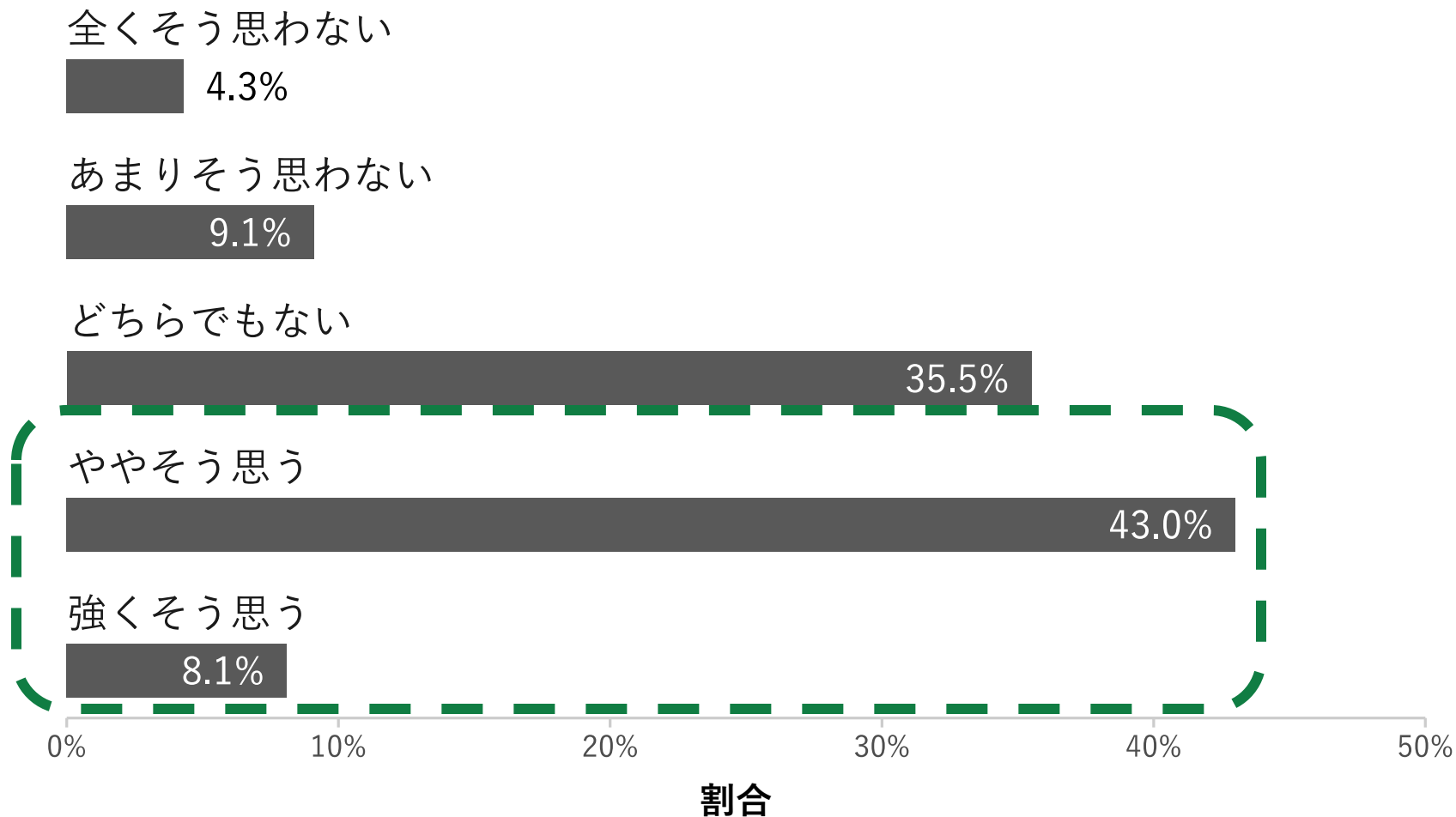
(1位から3位までを選択)



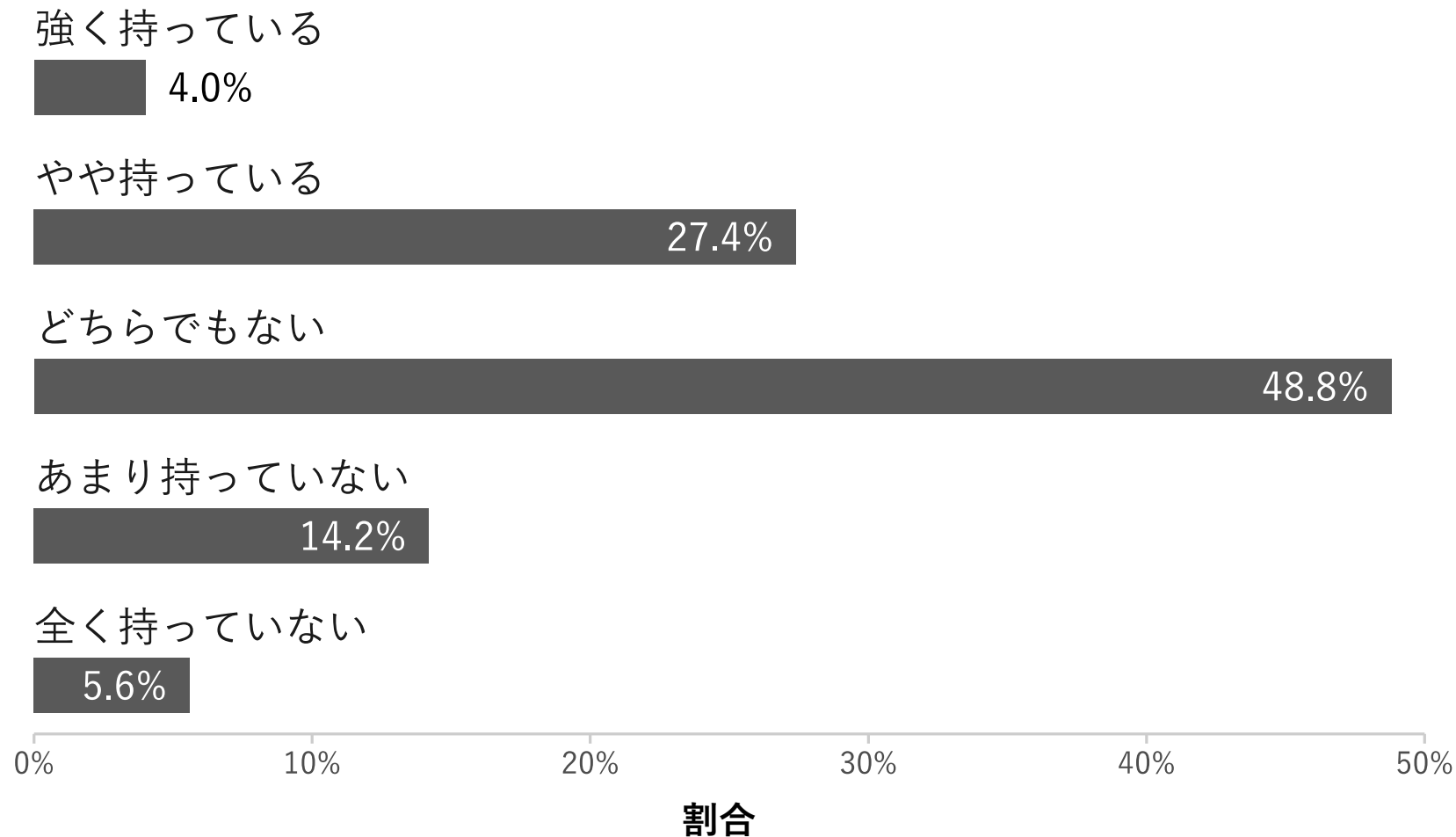
Q：生成AIを医療に活用することにより、医療サービスが向上すると思いますか。



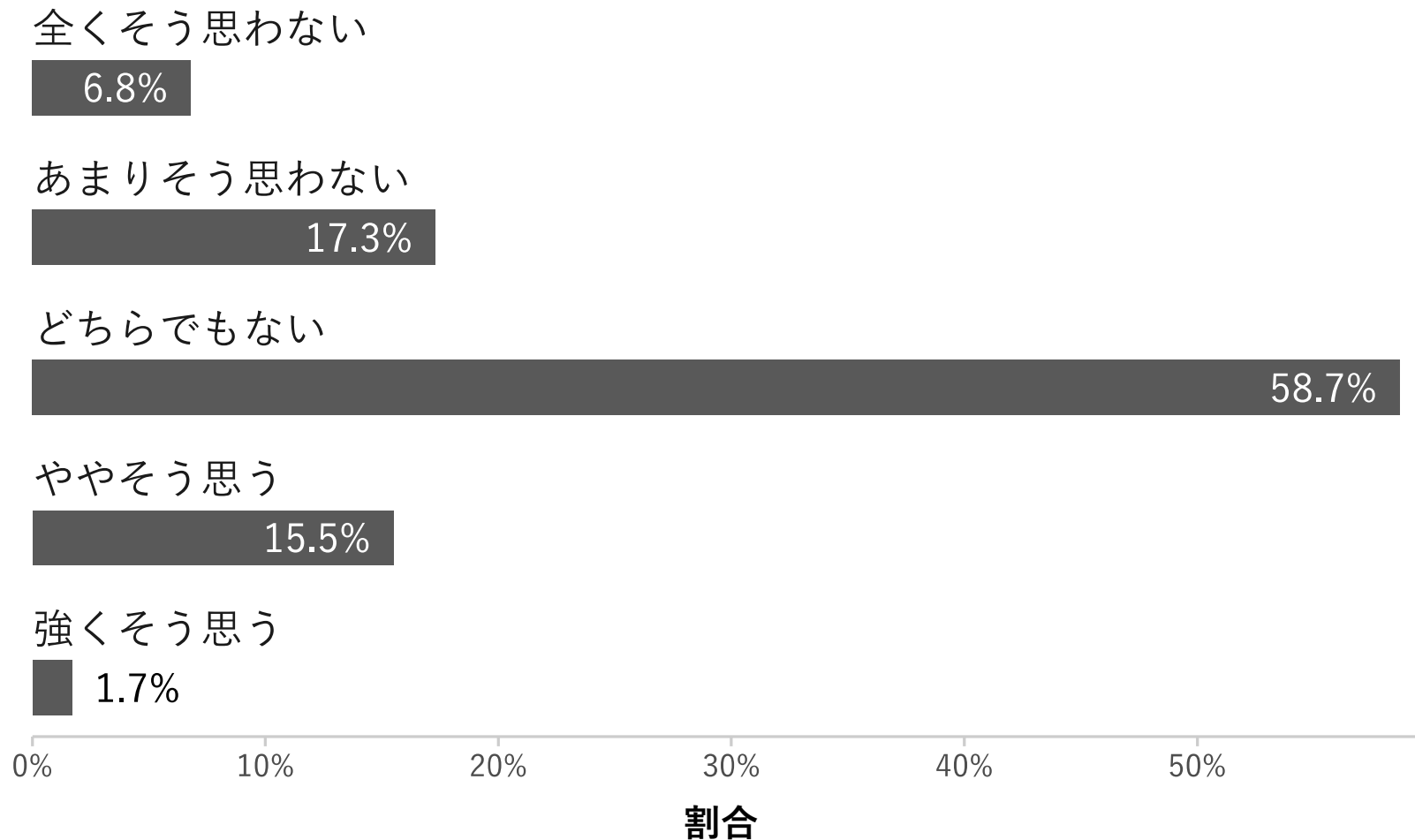
Q：生成AIを医療に活用することは医療の効率化に寄与すると思いますか。



Q：生成AIを医療に活用することに関して、好意的な印象を持っていますか。

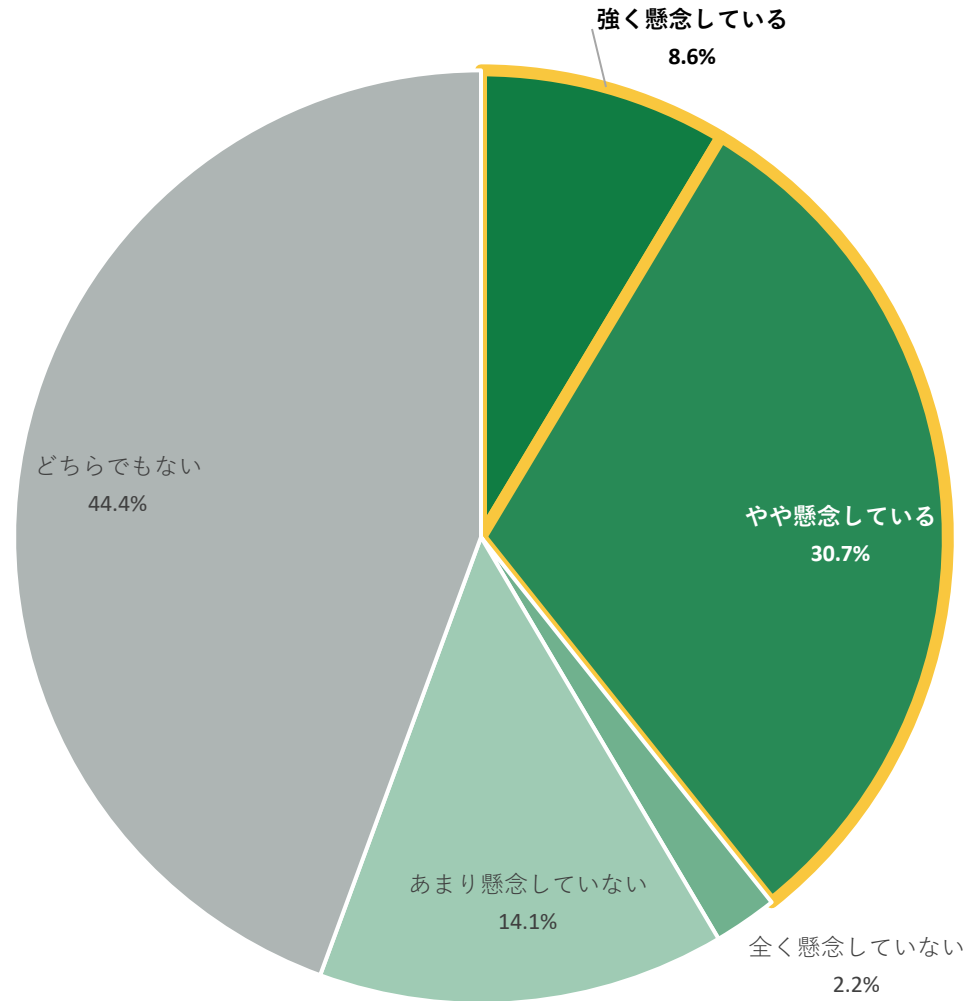


Q：あなたの周囲の人々は、生成AIに関して楽観的な見方を持っていると思いますか。



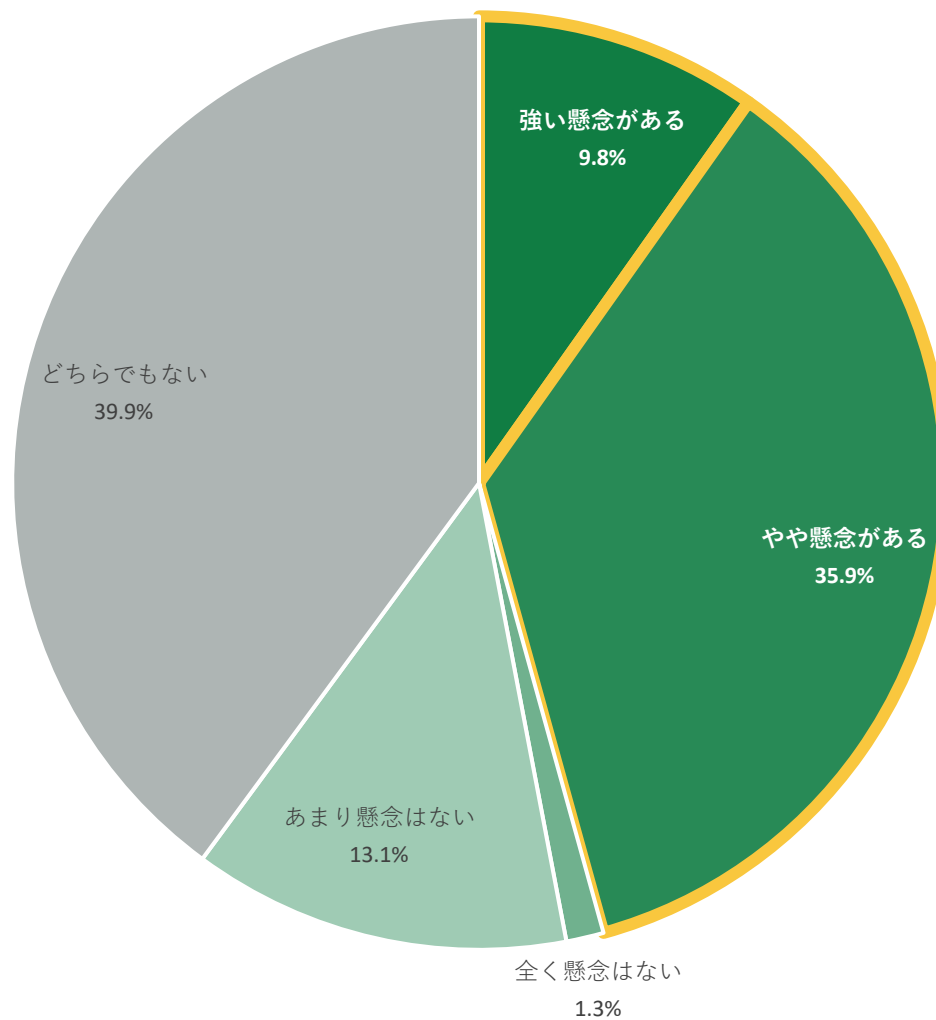
# 情報格差への懸念は約4割（39.3%）

Q：生成AIを医療に活用することにより、情報等の格差が広がることを懸念しますか。



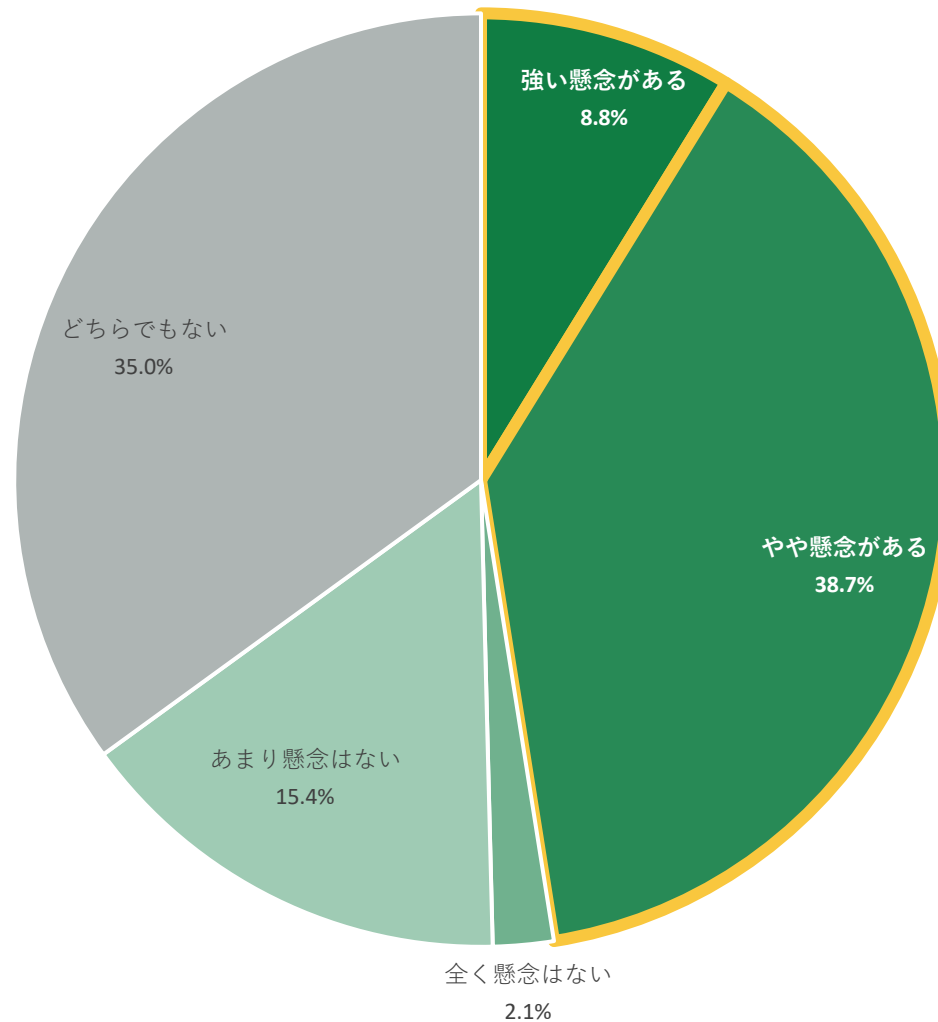
# 情報の正確性に対する懸念は約半数（45.7%）

Q：生成AIを医療に活用するにあたり、情報の正確性に関する懸念を抱えていますか。



# 個人情報流出に対する懸念は約半数（47.5%）

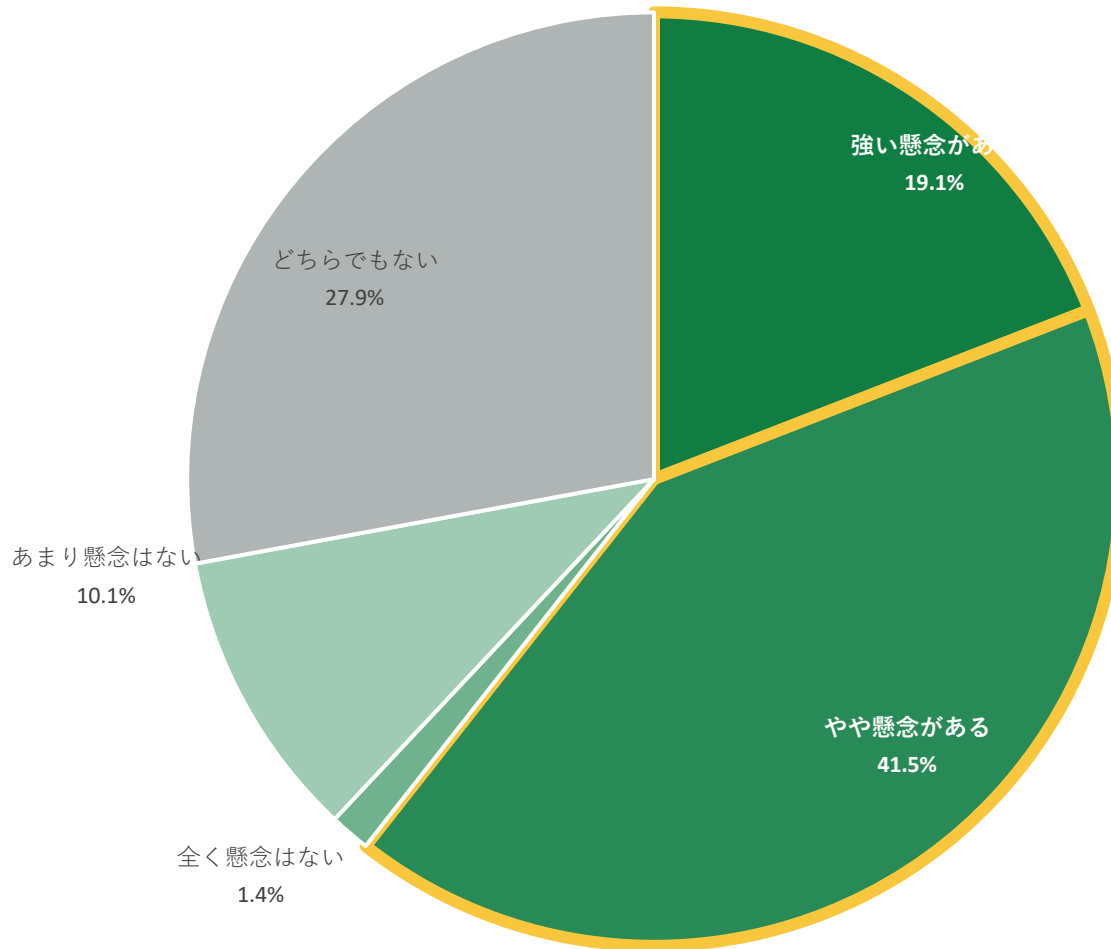
Q：生成AIを医療に活用するにあたり、個人情報の流出に対する懸念を抱いていますか。

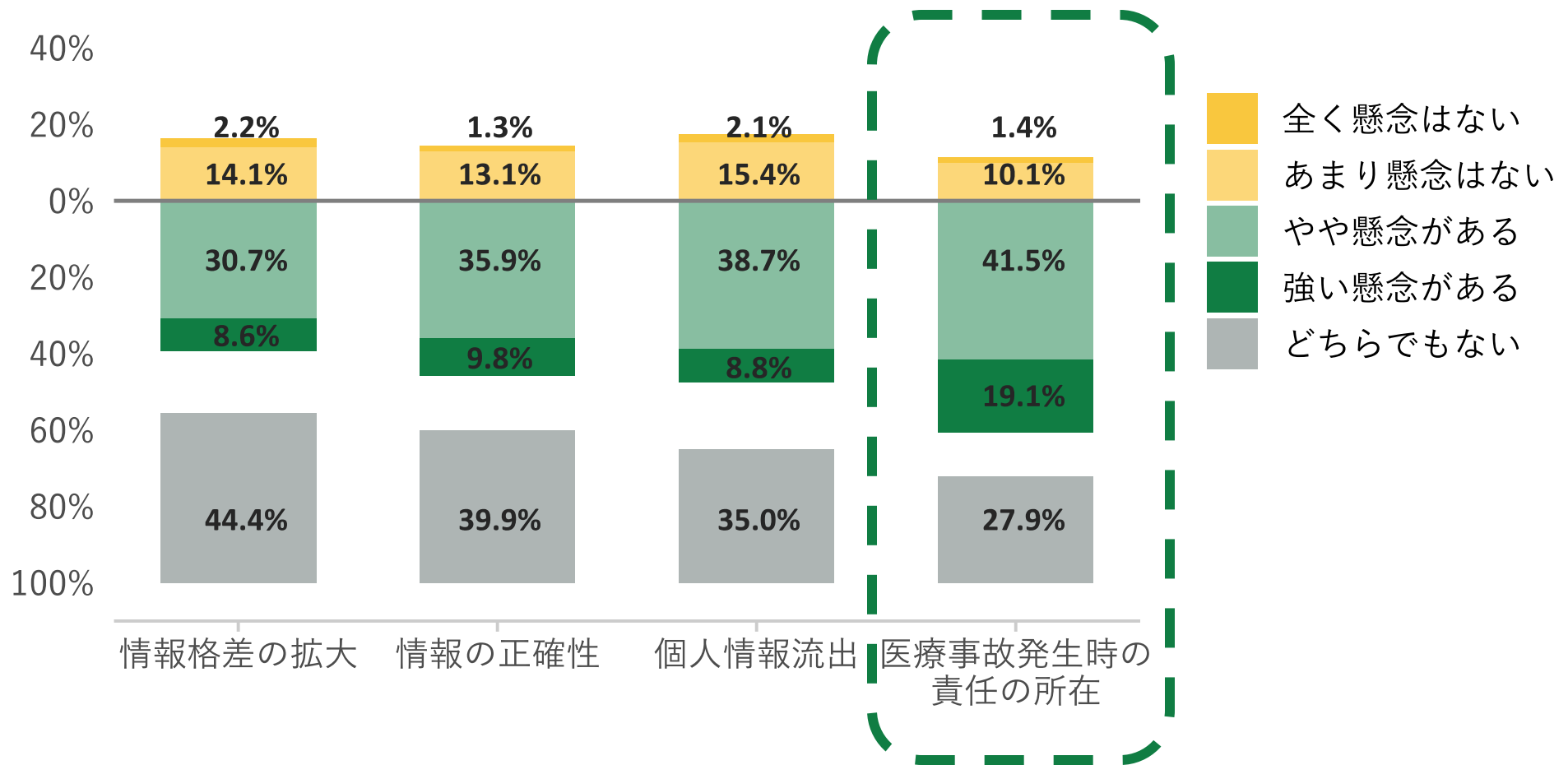




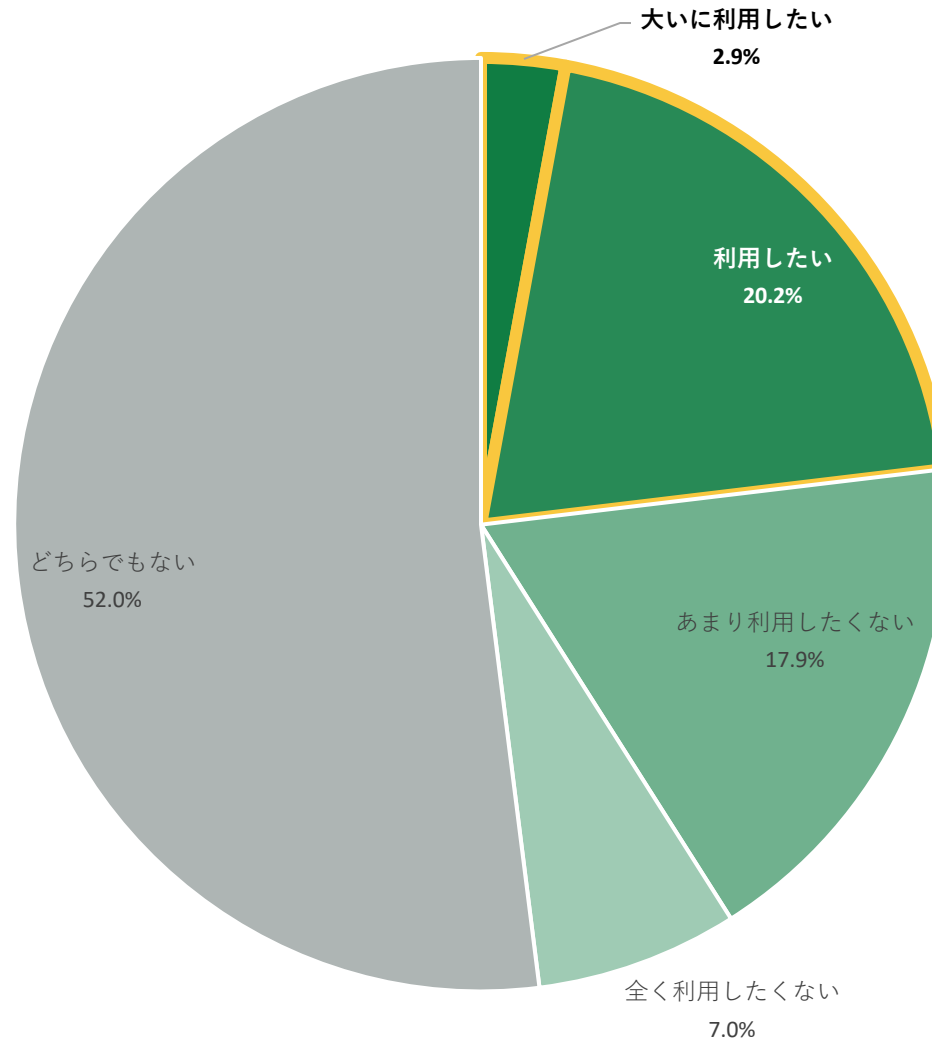
# 60.6%が医療事故発生時の責任の所在に関して懸念

Q：生成AIを医療に活用した結果、医療事故が発生した場合の責任の所在に関する懸念はありますか。

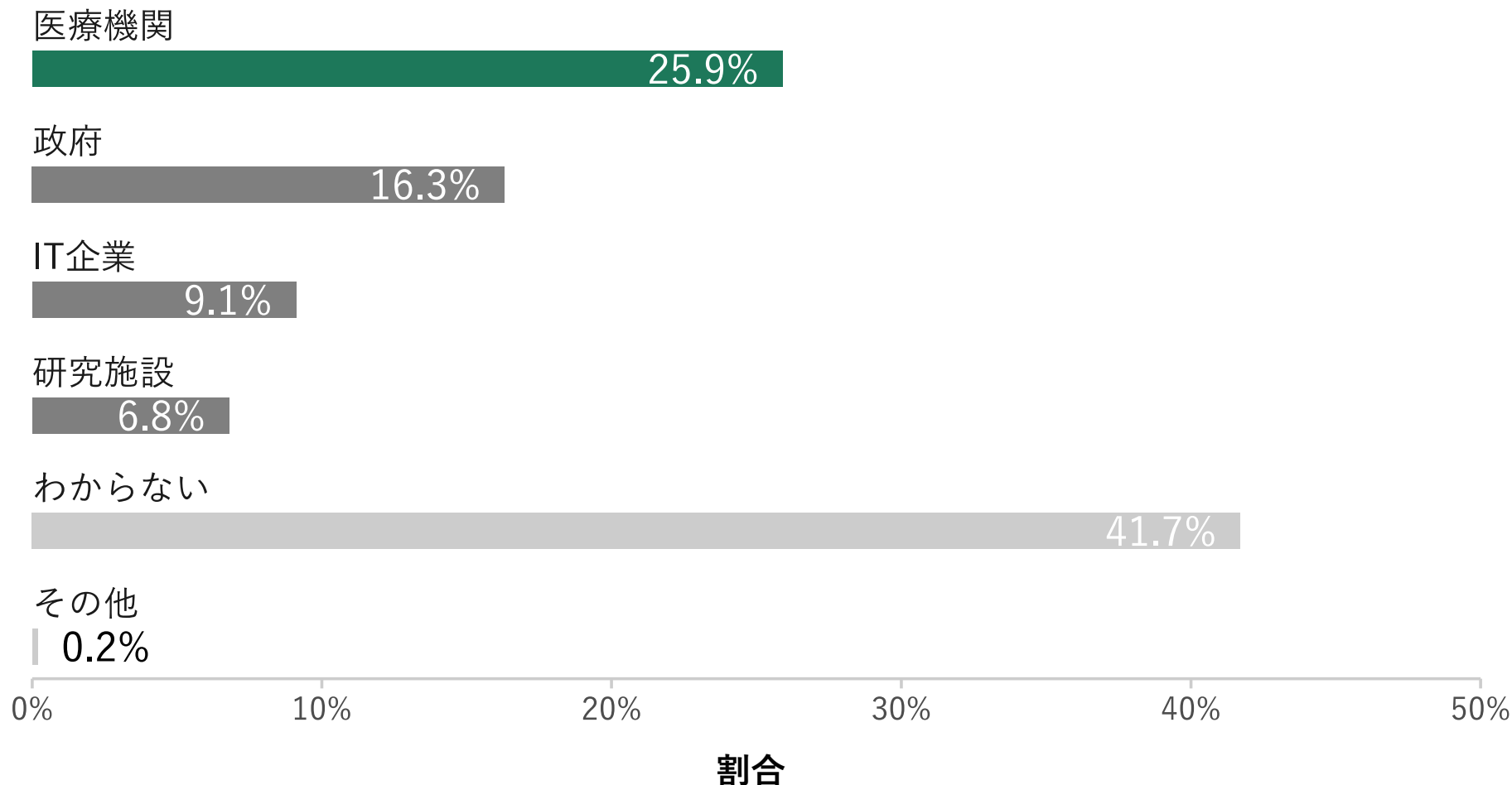




Q：生成AIを活用した医療を利用したいと思いますか。



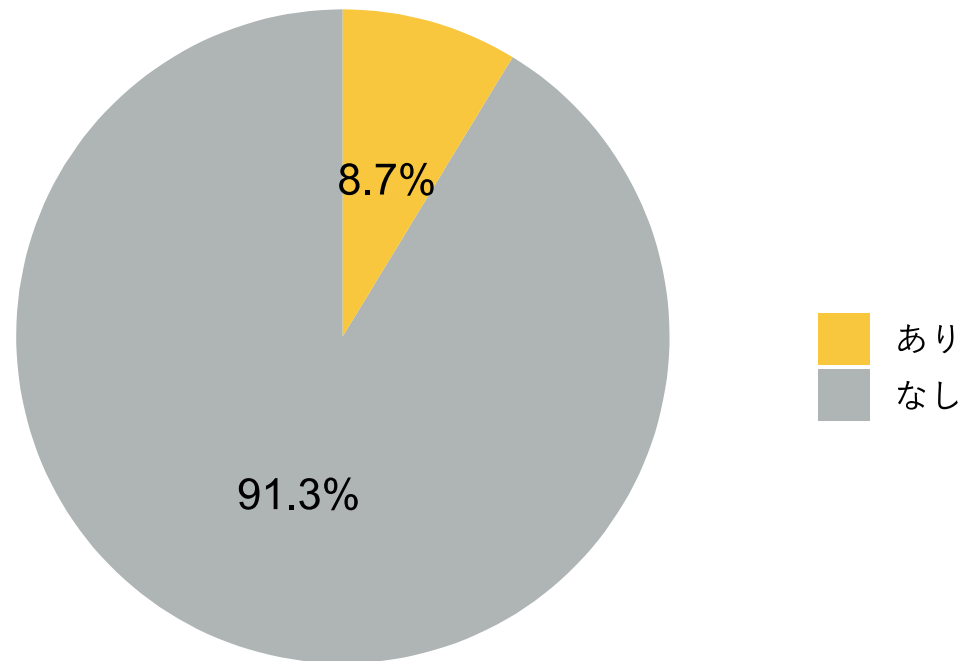
Q：医療において生成AIを利用する上で、運営主体（※）はどのような組織が担うべきだと思いますか。



※運営主体：主として生成AIにおいてアプリケーションやサーバーの管理、運用を行うものを指します

# 生成AIに関するルールは すでに1割弱（8.7%）の組織において整備され始めている

Q：所属している機関や組織に生成AIの利用に関する  
ルールや決まりはありますか。



## 執筆・協力者

- 塚本 正太郎（日本医療政策機構 シニアアソシエイト）
- 施 楚ウエン（日本医療政策機構 プログラムスペシャリスト）
- 菅原 丈二（日本医療政策機構 副事務局長）
- 島袋 彰（日本医療政策機構 アドジャンクトフェロー）
- 窪田 和巳（日本医療政策機構 フェロー／東京大学医学部附属病院企画情報運営部）
- 藤田 卓仙（日本医療政策機構 リサーチフェロー／神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科 特任准教授／慶應義塾大学 医学部医療政策・管理学教室 特任准教授）

## お問い合わせ

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2

大手町フィナンシャルシティグランキューブ3階 グローバルビジネスハブ東京

TEL: 03-4243-7156

FAX: 03-4243-7378

Info: info@hgpi.org

Website: <https://www.hgpi.org>

## 出典記載例

日本医療政策機構（2023）. 2023年 日本医療の満足度、および生成AIの医療応用に関する世論調査.